

第4回 津山市久米総合文化運動公園市民プール
整備基本計画策定委員会会議録（概要）

○日 時 令和5年4月27日（木）13:30～14:55

○場 所 久米支所2階 大会議室

○出席者

・津山市久米総合文化運動公園市民プール整備基本計画策定委員会委員 10名

委員長 小山 京子（美作大学生生活科学部教授）

副委員長 山田 誠（津山市連合町内会久米支部長）

委員 佐野 彰彦（津山市PTA連合会会長）

林原 郁恵（久米こども園園長）

妹尾 出（久米中学校教諭【体育担当】）

國米 裕喜（久米中学校PTA副会長）

池口 周治（久米市民プール利用者）

真木 茂（津山市スポーツ協会副会長）

石井 信（津山中央病院リハビリテーション部副部長）

小林 秀孝（津山市老人クラブ連合会副会長）

・事務局 地域振興部長、関係課長等 8名

1. 開会

委嘱状交付 山田委員

副委員長互選 山田委員を選出

2. 議題

(1) 協議事項

(事務局)

議題の前に報告をさせていただきます。

前回の委員会で、事務局に要望がありました。内容は『現在と同規模のプールを建設した場合と、公認プールを建設した場合の建設費を今回の委員会で提示していただきたい。』とのことでした。

結論から申し上げますと、個々の建設費をお示しすることはできません。

現在、基本計画の策定を行うに当たり、策定委員会などで広くご意見をお聞きしている段階であり、基本的な施設内容や付帯設備等の大きさは、いただきましたご意見等を受け止めまして、基本計画に反映をし、建設事業費の算出をしていくこととしております。

なお、本委員会では事業費の提示は予定しておりませんが、津山市水泳連盟から提供のありました試算額、約20億円を公認プール建設費の参考額として捉えておりますことを

報告をさせていただきます。

事務局からは以上ですが、前回の委員会で「津山市水泳連盟さんから公認プールの建設資金をいくらかでも捻出されるのか」というご意見もいただいておりますが、関係の委員からご説明がありましたらお願いします。

(委員)

市役所の東にあった50m公認プールは、必ず他の場所に公認プールを作る、という津山市の約束の下に平成19年に取り壊しとなった。それから16年になるが、未だにできていない。

津山市がした約束で作るのであるから、水泳連盟あるいはスポーツ協会は新プールの建設にあたり建設費の負担をする意思はない。全国的にも、水泳連盟が公認プールの建設資金の負担をしたという話は聞いたことがない。

(事務局)

「基本計画(案)(資料2)」、「基本計画策定委員会での意見概要について(資料1)」に基づき説明

(委員)

レインボープール全会員を代表して、申し上げます。現在の会員数は618名です。コロナ禍が明けて利用者数は回復傾向にあります。

プール会員は1歳から中学3年生までの若年層が314名で全会員の過半数であります。現在のプールを取り壊した後に新築となりますと、子供たちは2年間水泳をする機会を失ってしまう。

どうしても続けたいという子供たちは、やむを得ず他のスクールに移ることになるでしょうが、大半の子供たちは水泳を止めてしまうでしょう。また、小中学校の生徒さんも、授業として利用ができなくなってしまうと危惧しております。

60歳以上のシニア会員は、健康維持のために利用させていただいておりますけれども、運動の機会を失ってしまう。

財政が厳しい中で、新プールを建設していただくことは大変ありがたいと思っておりますけれども、何度も申し上げますように、新プール完成まで現在のプールを必要最小限の修繕をしていただきながら、何とか従来通り営業していただきたい。

どうしても現在の位置に建設するのであれば、駐車場に建設できる範囲内のプールを建設していただきたいと考えております。

これができないのであれば、別の場所、例えば領家のごみ焼却場の近くに、新プールを建設して、焼却熱を利用した温水プールを建設すればどうかと思います。そうすれば、現在のプールの熱源は電気ですけれども、電気料金の大幅な節減になると思いますし、SDGsに繋がると思います。

どちらにしましても、2年間は何とか延長整備をしていただき、税金の無駄遣いにならない

い範囲内での新プールを建設を切にお願いをいたします。

(委員)

幼少時からの積み上げで泳げるようになると思う。例えば中学生が年3回の授業で泳げるようにならないと思う。2年間は使えなくとも、次世代のことも考えての施設として欲しい。

先日の5歳児の事故のこともあるし、小さいころから水に慣れ、楽しく続け、競技会にも出られるようになるのが理想だと思う。

(委員)

久米中学校の水泳授業は、10時までの短い時間に2時限使うことで対応しているが、久米プールまで徒歩で行っている。泳げる時間は40～45分程度。年3回の授業では泳げるようにはならない。やはり、小学校から泳法を教わっていないと泳げるようにはならない。

新しいプールを作るのであれば、専門の指導員による授業で泳げるようになる喜びを与えるようにしたい。

また、市からは「レインボーを使わせるから学校のプールを無くす、移動は学校で対応してほしい」とのことだった。少しの距離の移動でも危険がある。生徒の移動については市の責任でバスを出すようにしてほしい。

コロナ前の授業が継続して行われてた時でも、小学校の方でも、なかなかプールの授業時間がとりづらかった。水質の問題とかで、なるべくプールの期間を短くしないと経費がかかってしまうので。雨で授業がとんじやうと、もうそれ以上時間をとれない。それで毎年泳げない子が出てくる。

(委員)

中学生は思春期ということもあって、プールの授業をボイコットする子も出てくる。下手をすると半分ぐらいの子しか入らないこともある。

ところで、資料2の8ページ、DBO方式での整備は決まったんですか。

(事務局)

案として出させていただいている。

(委員)

事業者提案では、収益性が低いものは提案されないのではないかと。

(事務局)

そういった懸念も当然あるかと思いますが。

ただ、事業者提案を受けるときに、仕様書というような形で、このようなものを提案してくださいという形になります。

どの程度のレベルでお願いしたいという形に、どれだけ盛り込んでいくかというふうに思っておりますので、いろんなご意見を参考にさせていただきながら、作成していきたい。

(委員)

建設会社と運営会社がセットで提案してくるのか。

(事務局)

運営会社がやりやすいものを提案していただくことになるが、仕様書には沿ってもらう。

(事務局)

基本構想を公表した後、12月から1月にかけて、サウンディング型市場調査を行いました。建設関係設計関係、管理会社関係などいろいろな事業者さんが参加され、その中で、運営関係として8社の方が参加されました。

それから、運営における採算性のことですが、津山市がお金を出した上で、運営会社は利用料も収入として運営をするという、ミックスの形での運営というものを現在想定しています。

完全に利用料金だけの独立採算で運営してください、というようなものではありません。

(委員)

学校の先生は色々な事を教えなければならない。水泳は専門の指導員が教える方が良いと思う。

(委員)

津山は古式泳法が盛んだと聞いていた。伝統がどんどん失われてる。ある程度の深さが必要なので、可動床は必要と思う。

また、委員も言われていたが、中学校から往復30分以上歩いて行くのは危ないと思う。ふざける子は必ずいるので。

今年のプール授業では実験的にバス輸送をやってみてほしい。

(委員)

スポーツ協会としてお願いしてるのは可動床で、8コースの内4コースを分離して床の深さを変えることができるものを提案している。

そうすれば、例えば今は中学生の授業が朝の10時までに終わらなければいけないが、4コースは一般開放して、残りのコースで授業をするというのは可能であると思います。

そうすれば、別に10時じゃなくても、午後でもできます。特に、水泳は疲れますので、午後がいいと思います。

夏休みを利用すれば授業確保ができるのかなと思います。年間、水泳の授業時間数を10～15時間ぐらい必要だと思う。

一般開放しながら、学校の授業をすると、非常に効率がいいと思います。
そして、競技力向上の思いがありますので、ぜひ可動床の実現をしていただきたい。

(委員)

近年、小学校の夏休みのプール開放についてはできないようになっている。コロナ禍と、あと猛暑で、もう夏休みの教育開放ができませんということなんです。

考えてみても、8月の一番暑いときは38度もある中を子供が自転車で行って、プールで2時間泳いでくたびれて、またその自転車で帰るっていうのは本当に現実的じゃない。

夏休みのプール開放の代わりに、レインボーのチケットを何回か配って使ってもいいという気がします。

(委員)

健康増進の視点から話をさせてもらいます。

高齢の方でも元気な人は本当に元気です。加齢により心身が衰えるなど、「家から出たくない、誰かと一緒ならできるけど」という人をいかに救い上げるかというところが大切。ただ建物があっただけでは駄目で、続けて行こうと思う使いやすいメニューがあるといい。

(委員)

以前1回傍聴したが、そのときには、意見がいろいろ出て、感心しました。

実は、私はこの現レインボープールを作ろうと当時の久米町長に申し上げたグループの1人です。

基礎体力は水泳だと、子供の水遊びからだ。それから、健康管理に水泳はいいと。だからどうせやるんなら、そういう両面からやろうということでした。

それから商圈を考えたら、鏡野町等に聞きますと温水プールをするつもりはない、いうことだったので、ぜひ地域おこしも含めてやっていただきたいということで、これを受けていただいて、あの場所になったわけです。

そういう経過を踏まえて、今皆さん方からのご要望いただきながら、今思っているところは、執行部の皆さんには十分この意見を聞いていただいて、全部取れるとは思いませんけれども、反映していただいて、いう思いが一番です。

(委員)

温水プールは無関係だったんですけど、この前、見学に行きました。

中に入ると、蒸し暑くて、ようこんなと居るなっていう感じでしたが、やっぱり水泳好きな人や、運動好きな人は温水プールにおられるようです。

それから親子連れの方も来て、楽しくやっつるのも拝見しました。

前聞いたことですが、お年寄りでも、よう肥えた方でも歩くのも立派な運動になる。

皆さん意見を出されて、もうこれをまとめた立派な設備ができるんじゃないかという感じもしました。

老人、高齢者にとっては、虚弱体質になっちゃいけませんので、とにかく温水プールあり、またこけない体操あり、それから、おしゃべりタイムというような、とにかく人に会って対応していくのが一番健康にはいいと思うんです。笑うことが一番ね、幸せを感じる。

(事務局)

「基本計画策定委員会スケジュール(資料3)」について報告。

第5回は令和5年5月25日(木) 13:30～ 久米支所大会議室

委員会の最終的な意見書案を提出させていただきたいと思います。

そこで、検討いただいて、最終的には意見書という形で市長に提出することを想定しております。

(2) その他

3. その他

第5回は令和5年5月25日(木) 13:30～ 久米支所大会議室

4. 閉会